# アクセスされる
# ジャーナルを目指す

亀田 尭宙
（国立歴史民俗博物館　特任助教、
東南アジア地域研究研究所　連携助教）

2021.1.28 KURA「研究者の歩きかた」セミナー
L-INSIGHT/KURA連携プログラム
パブリッシングセミナー 第2回 「ジャーナルを可視化する」

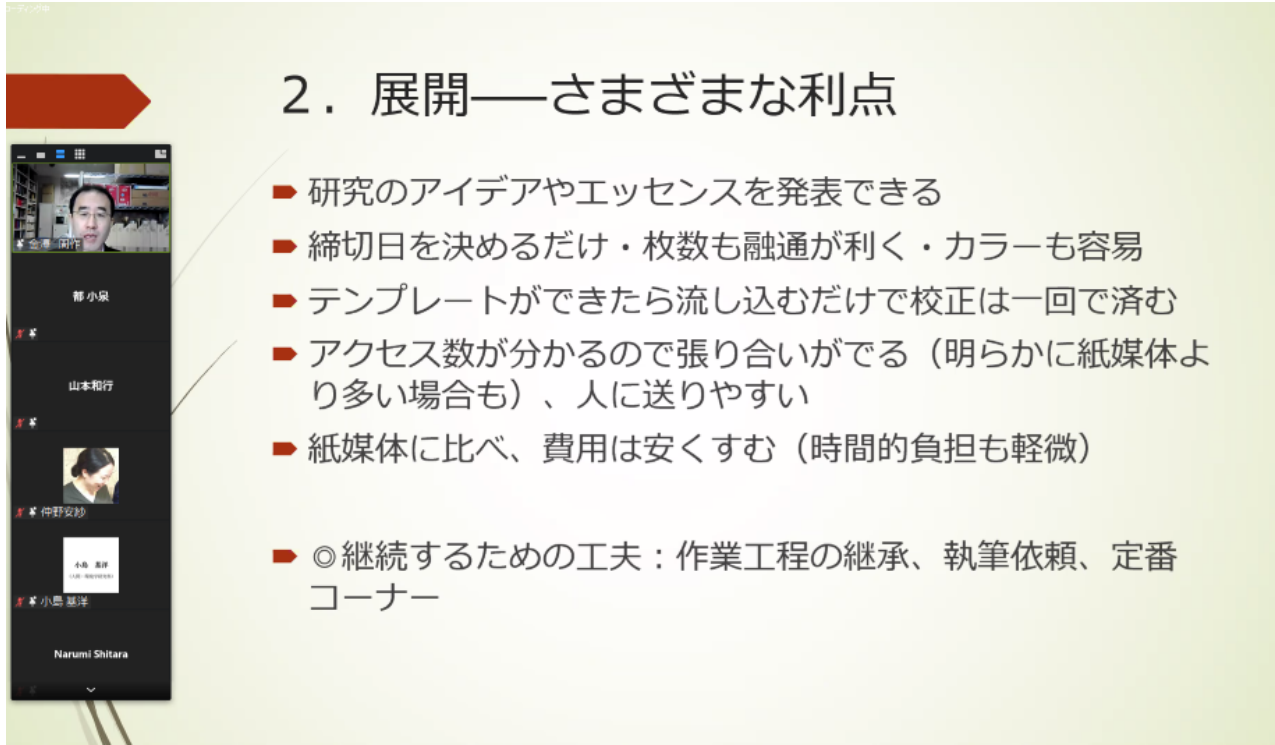
# 概要

- オンラインジャーナルを立ち上げたら…

→ちゃんと見られているか確認したい

- 紙の時は基本販売数か引用数しか見れなかった
- オンラインなら発行と
  利用の間が見える！

- SEO, Google Analytics,
  PageSpeed Insights,
  ランディングページ



# SEO（Search engine optimization）について

- 使っているツールやプラットフォーム＋ seoで検索すると（怪しいのも含めて）たくさんの情報が出てくる
- 新しい情報を用いるようにする
- 基本的な姿勢として
  「ユーザのために適切に情報を届ける」
- 無理をすると長期的にはランクを下げられたりもする

# サイトマップを送る

- 直接Googleに送ったり robots.txt というファイルからリンクを張ったりする方法
- WordPressなどの場合は専用のプラグインがある
- ジャーナルなどの定期刊行の場合はRSSの発行がおススメ

XML

次の例は、1 つの URL の場所を指定するごく基本的な XML サイトマップです。

```xml
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<urlset xmlns="http://www.sitemaps.org/schemas/sitemap/0.9">
  <url>
    <loc>http://www.example.com/foo.html</loc>
   <lastmod>2018-06-04</lastmod>
  </url>
</urlset>
```

sitemaps.org でさらに複雑なサンプルとドキュメントの全文をご覧いただけます。

代替言語ページを指定するサイトマップとニュース、画像、動画ファイルのサイトマップのサンプルを紹介しています。

RSS、mRSS、Atom 1.0

RSS フィードや Atom フィードを使用するブログの場合、そのフィードの URL をサイトマップとして送信できます。フィードを自動的に作成する機能はほとんどのブログ ソフトウェアにありますが、フィードでは最近の URL に関する情報のみが提供されることに注意が必要です。

- Google では、RSS 2.0 と Atom 1.0 のフィードを受け入れています。
- mRSS（media RSS）フィードを使用して、サイト内の動画コンテンツの詳細情報を Google に提供することもできます。

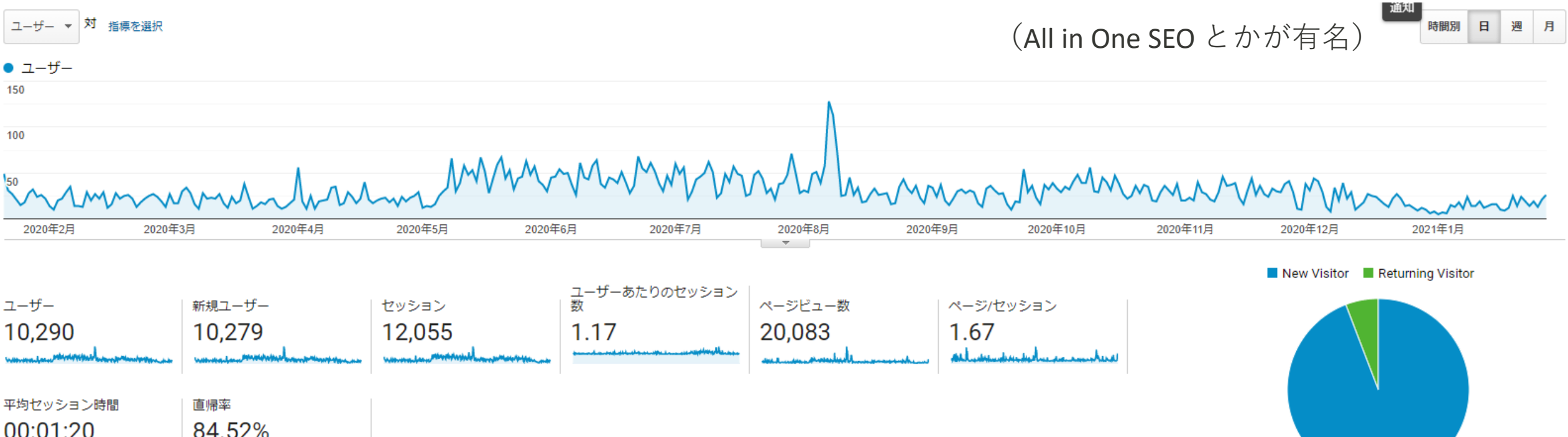
テキスト

# Google Analytics

https://analytics.google.com/

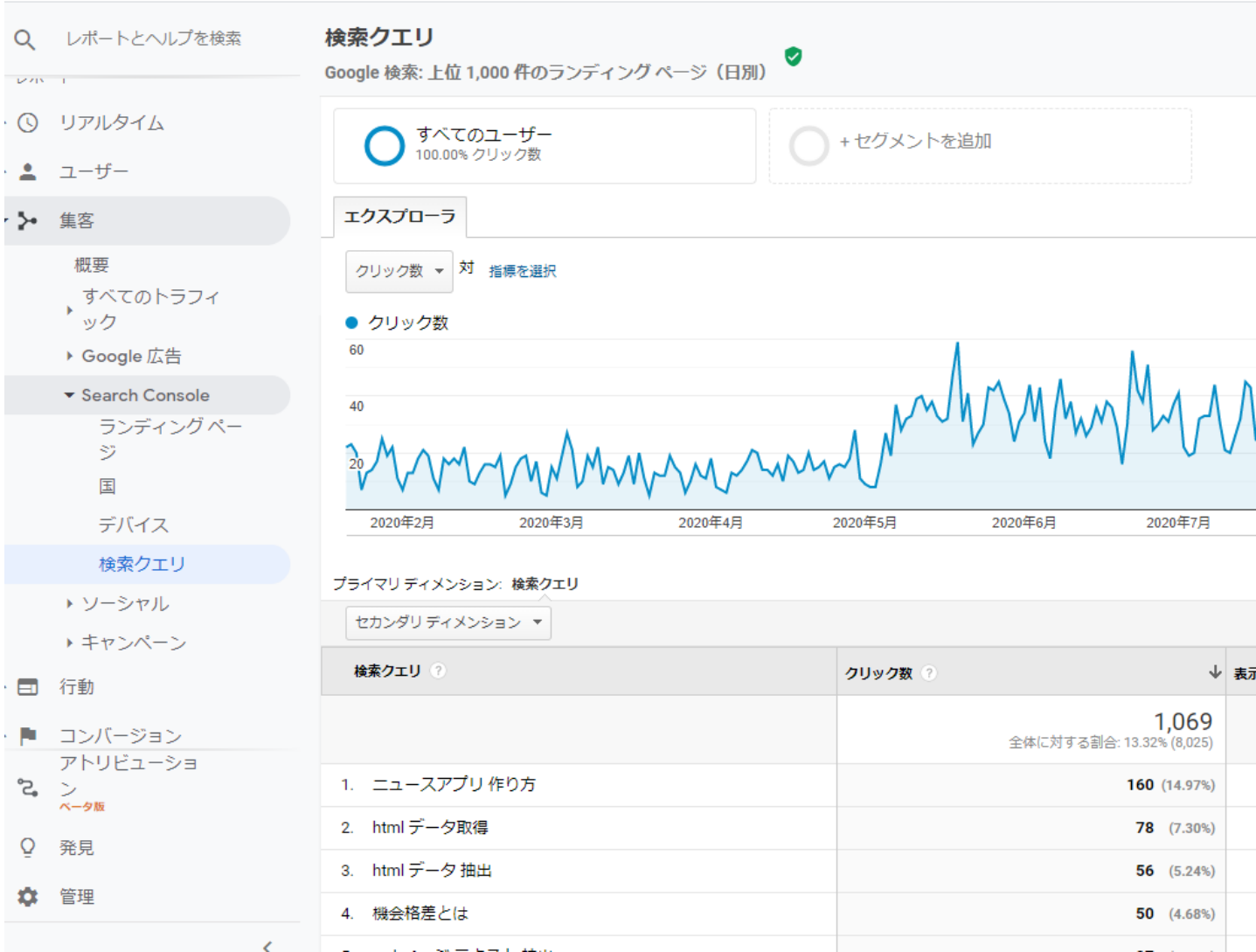
- Google が提供しているウェブサイト上でのユーザの動きなどの分析ツール
- 埋め込みの方法は割愛。ウェブサイトにコードを埋め込む。WordPressなどの場合は専用のプラグインがある。

（All in One SEO とかが有名）



# 集客の状況を把握する

- 集客のメニューから
  「検索のクエリ」
  で検索のクエリが分かる
  ↓
  どういう人が来ている
  かもわかる
  （ユーザのところから
  年齢などの推計も）



# SNS等からの流入を把握する

- https://...?utm_source=twitter...
- 「?」以降はパラメータ
- 集客＞ソーシャルから
  だいたいの概要は分かる
  （定常的な把握は
  それで充分）

Google Analytics | Demos & Tools

## Campaign URL Builder

https://ga-dev-tools.appspot.com/campaign-url-builder/

This tool allows you to easily add campaign parameters to URLs so you can track Custom Campaigns in Google Analytics.

### Enter the website URL and campaign information

Fill out the required fields (marked with *) in the form below, and once complete the full campaign URL will be generated for you. *Note: the generated URL is automatically updated as you make changes.*

* Website URL

The full website URL (e.g. `https://www.example.com`)

* Campaign Source

The referrer: (e.g. `google`, `newsletter`)

| | ソーシャル ネットワーク | セッション | セッション（%） |
|---|---|---|---|
| 1. | Twitter | 14 | 51.85% |
| 2. | Facebook | 12 | 44.44% |
| 3. | Pocket | 1 | 3.70% |

Identify the paid keywords

Campaign Content

# プライバシーへの配慮

Google Analytics を使っていることを表示する必要がある↓

## 7. プライバシー

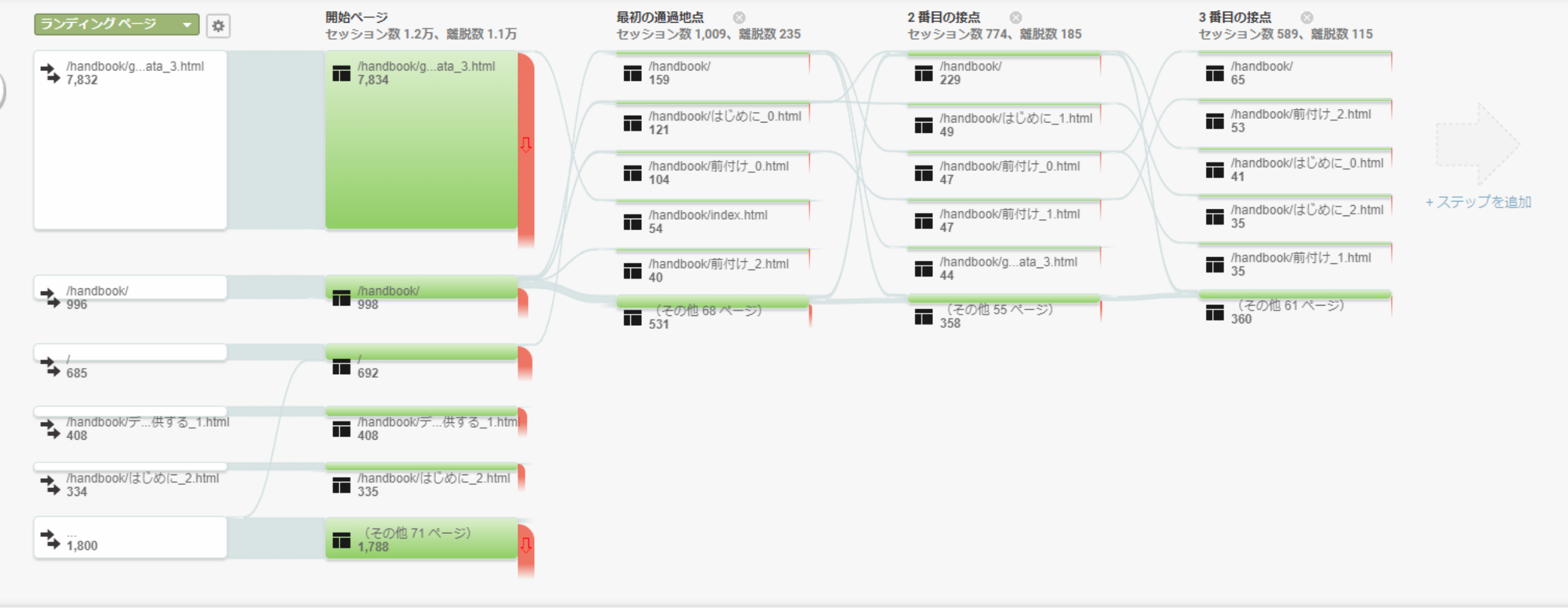
お客様は、Google が個人情報として使用または認識できる情報を Google に送信したり、第三者によるかかる行為を支援または許可したりしないものとします。お客様は適切なプライバシー ポリシーを用意および遵守し、ユーザーからの情報を収集するうえで、適用されるすべての法律、ポリシー、規制を遵守するものとします。お客様はプライバシー ポリシーを公開し、そのプライバシー ポリシーで Cookie の使用、モバイル デバイスの識別情報（Android の広告識別子、iOS の広告識別子など）、またはデータの収集に使われる類似の技術について必ず通知するものとします。また、Google アナリティクスを使用していること、および Google アナリティクスでデータが収集、処理される仕組みについても開示する必要があります。こうした情報を開示するには、「ユーザーが Google パートナーのサイトやアプリを使用する際の Google によるデータ使用」のページ（www.google.com/intl/ja/policies/privacy/partners/ または Google が随時提供するその他の URL）へのリンクを目立つように表示します。お客様は、本サービスに関連してユーザーのデバイス上で Cookie やその他の情報を保存、アクセスする行為が発生し、かかる行為に関する情報の提供とユーザーからの同意が必要であると法律で定められている場合には、ユーザーに明確かつ包括的な情報を提供し、同意を得るための商業上合理的な努力を払うものとします。

お客様は本サービスに含まれるプライバシー機能（オプトアウトなど）を一切回避してはなりません。お客様は、www.google.com/analytics/policies/（または Google が指定したその他の URL）に掲載される、該当するすべての Google アナリティクス ポリシー（「Google アナリティクス ポリシー」）に従うものとします。このポリシーは随時改訂されることがあります。

# PDFのダウンロード数の把握

- オンラインジャーナル独特の問題
- リポジトリには「ダウンロード数」がついている

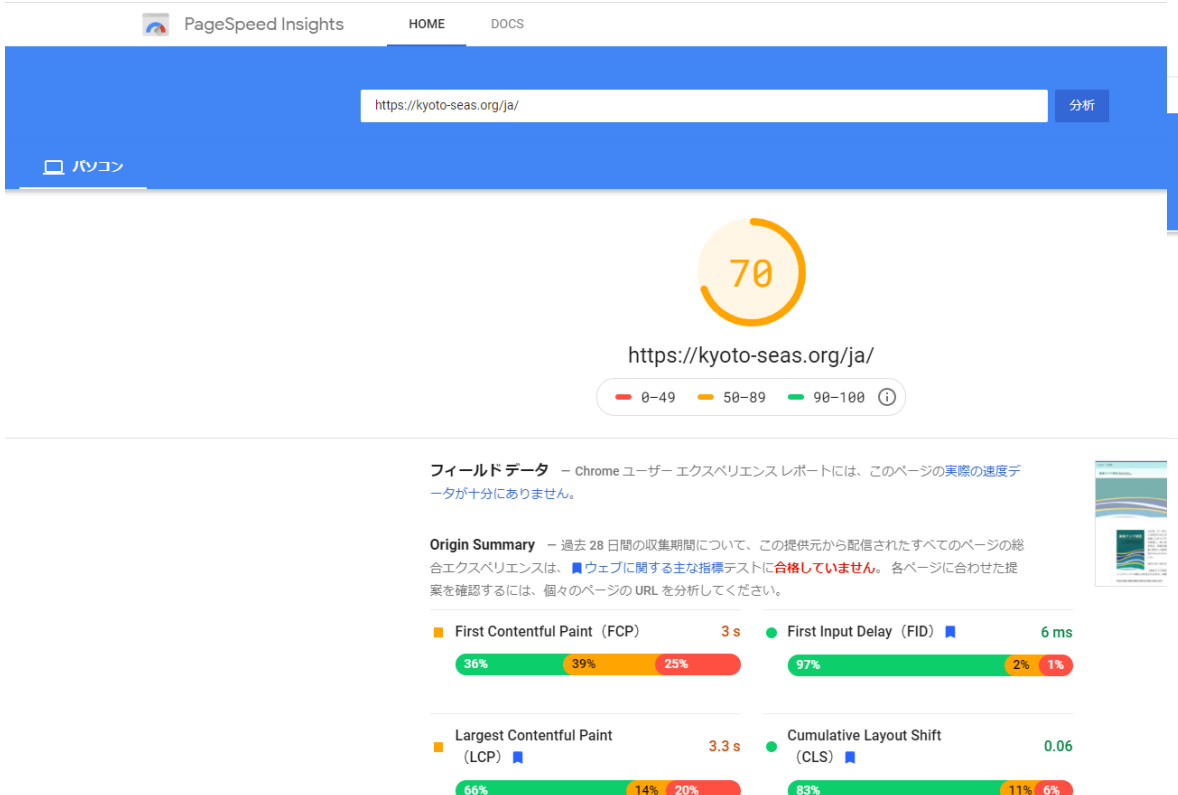
# ダウンロードまで至らない
# 離脱の状況を把握

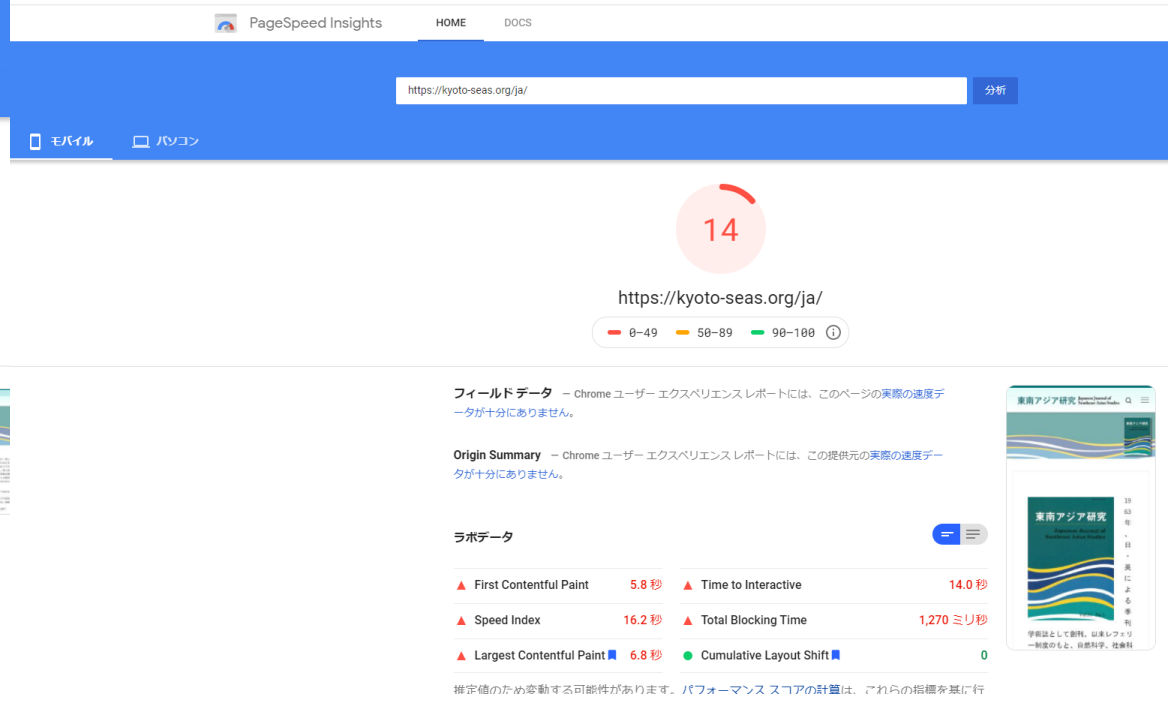


# PageSpeed Insights

https://developers.google.com/speed/pagespeed/insights/

- スピードの大切さ
  - 表示速度も検索順位に影響する
  - 何より表示が遅いとユーザが離脱してしまう



# 「改善できる項目」に着目

- 基本的には指示に従って改善
- ツールによっては、指示に従うのが困難なことも
  →神経質になりすぎない
- ウェブサーバが貧弱な場合、静的サイト化は多くの問題を解決する（その分更新作業が少し手間になる）

アップロードした画像を最適なフォーマットに自動変換するプラグインまたはサービスの使用をご検討ください。

| URL | リソースのサイズ | 減らせるデータ量 |
|---|---|---|
| ...uploads/b41abb1....png (www-archive.cseas.kyoto-u.ac.jp) | 768.1 KiB | 716.3 KiB |
| /media/DKvPDugVYAAk91u?format=jpg&name=small (pbs.twimg.com) | 45.3 KiB | 15.9 KiB |

レンダリングを妨げるリソースの除外 0.46 s

ページの First Paint をリソースがブロックしています。重要な JavaScript や CSS はインラインで配信し、それ以外の JavaScript やスタイルはすべて遅らせることをご検討ください。詳細

重要なアセットをインラインで読み込むまたは重要度が低いリソースの読み込みを遅らせるために役立つ、さまざまな WordPress プラグインがあります。ただし、これらのプラグインの最適化処理によって、テーマやプラグインの機能が阻害されることがあります。その場合は、コードを変更する必要があります。

| URL | 転送サイズ | 減らせるデータ量 |
|---|---|---|
| /css?family=... (fonts.googleapis.com) | 1.9 KiB | 230 ms |
| ...genericons/genericons.css%3Fver=3.4.1.css (www-archive.cseas.kyoto-u.ac.jp) | 27.8 KiB | 190 ms |
| ...twentysixteen/style.css%3Fver=4.9.8.css (www-archive.cseas.kyoto-u.ac.jp) | 68.5 KiB | 430 ms |

# 特集ランディングページを作る

- ジャーナルのコンテンツをより多様に宣伝するために
- ジャーナル自体の特集はもちろん、例えば地域研究なら地域ごとのページや時代ごとのページなど様々な入口と説明文を用意することで、アクセス増加を見込むことができる
- （もっと一般的には）
  入口はいろいろあるとよい
- 他の関連ジャーナルへの
  リンクなども

参考：機関リポジトリとの連携

- 大学図書館（等）による情報発信プラットフォームの一つ
- 長期保存体制、永続識別子（DOI）取得、発見可能性の向上など、DOAJ sealが求める多くの技術的な要件にも対応

Ref: 京都大学発行電子ジャーナル

# おわりに / ついでに

- ジャーナルにおけるSEO
- Google Analytics の基礎
- PageSpeed Insights
- ランディングページ

ついでに追加情報

- 英語の概要文
- ac.jpドメインは強い（.xyz とかはやめておきましょう）
- リポジトリは強い
- https化
- セキュリティのアップデートも大事
- OpenCitation の推進

# （質疑での追加情報）OpenCitation

- （1）構造化

なんらかの機械可読なフォーマットで構造化されていること（JSON や RDF など）

- （2）分離

論文本文にアクセスせずとも，引用データの情報が得られるように分離されていること

- （3）オープン

一切の制限なく，アクセス・再利用可能であること （CC0，パブリック・ドメインなど）

- （4）識別可能

引用元・引用先の文献について，恒久的識別子（DOI） や URL 等によって識別・同定可能となっていること

佐藤 翔「オープン・サイテーションのいま」
https://doi.org/10.18919/jkg.69.10_480

# OpenCitation の具体例

https://opencitations.net/index/croci/ci/0500100010636193732141128142237020001023700083700001-0500100080736020000090200 02.ttl

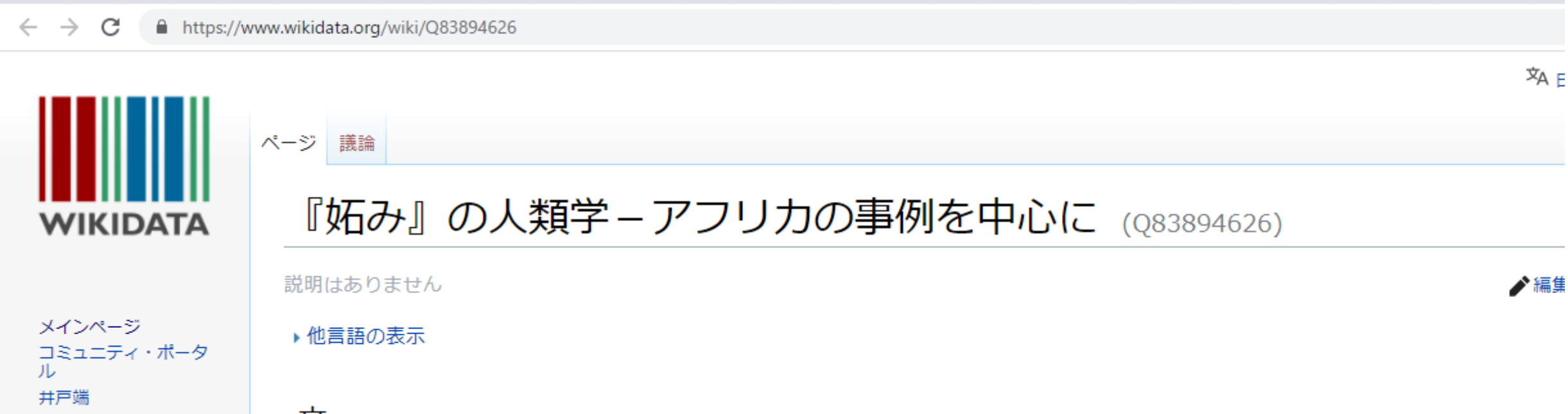
```
@prefix ns1: <http://purl.org/spar/cito/> .
@prefix ns2: <http://purl.org/dc/terms/> .
@prefix rdf: <http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#> .
@prefix rdfs: <http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#> .
@prefix xml: <http://www.w3.org/XML/1998/namespace> .
@prefix xsd: <http://www.w3.org/2001/XMLSchema#> .

<> ns2:license <https://creativecommons.org/publicdomain/zero/1.0/legalcode> .

<https://w3id.org/oc/index/croci/ci/0500100010636193732141128142237020001023700083700001-0500100080736020000090200 02> a ns1:AuthorSelfCitation,
        ns1:Citation ;
    rdfs:label "oci:0500100010636193732141128142237020001023700083700001-0500100080736020000090200 02" ;
    ns1:hasCitationCreationDate "2012-12-01"^^xsd:gYearMonth ;
    ns1:hasCitationTimeSpan "P3Y8M"^^xsd:duration ;
    ns1:hasCitedEntity <http://dx.doi.org/10.1087/2009202> ;
    ns1:hasCitingEntity <http://dx.doi.org/10.1016/j.websem.2012.08.001> .
```

# OpenCitationの実際

- J-STAGE
- 自前の場合にcitingリンク（右図）の元データとして公開すればいい
- DOIの代わりにWikidata QIDも使える



# 個人個人よりも
# リポジトリに求められる努力になる（と思う）

また，J-STAGE では各文献の引用文献・被引用文献を表示する機能は実装されているが，多くの機関リポジトリにはこのような機能は実装されていない．ユーザの情報検索行動に関する研究 [7], [8] ではこれらの機能が重要であることが示されている．引用データを利活用して学術の発展の系統を辿れるようにするためにも，これらの機能の実装が望まれるだろう．

西岡千文 et al.「日本の学術出版物における引用データのオープン化の現状分析」